

# Siビジョン 音質、聴感成分の評価と判定、メカの改良、サウンドの創造へ！

Siビジョンは実際に聞える音の成分だけを見える化、各聴感成分を分離、評価できます！  
自社製品改良後のサウンドを事前にシミュレート、自由にデザインできます！！

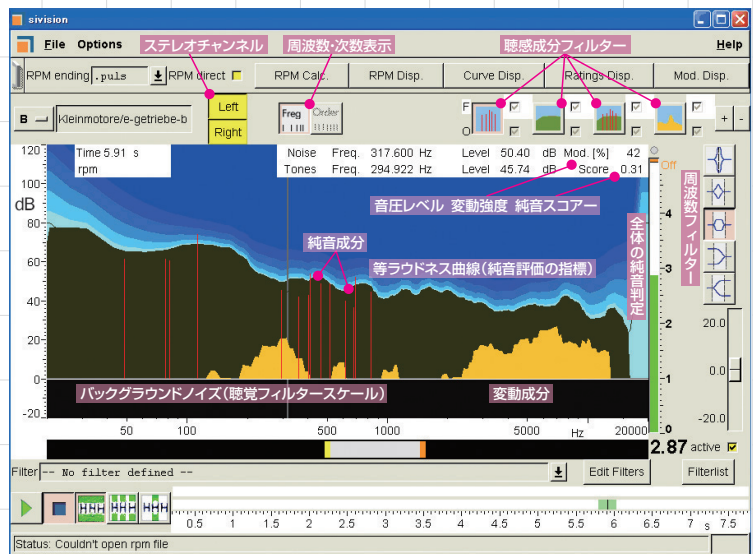
エンジン、ギアボックス、トランスミッション、ターボ、シリンダー、コンプレッサー、ロードノイズ、モータ、電機、機械等あらゆる場面で必須のツール

## 問題！

- 車室内の異音の特定？
- 耳障りなメカ音の原因及び対策？
- 製品音質の良否の判定？
- ヒアリングセッションでの意見の不一致？
- 理想的な自社サウンドの創造？

従来の方法では・・・

- 経験者による官能評価  
⇒ 主観に依存、定量化、データ化できません
- FFT、オクターブ、周波数解析等  
⇒ 物理量に依存、実際に聞えない音まで対策してしまいます
- 既存の心理音響、音質評価  
⇒ 多くのパラメーターがあり一般ユーザには複雑で製品音の物理量との関係やその音が発生するメカの特徴が容易にはわかりません



実際に聞えるギアボックス音の Si ビジョン画像例

## Siビジョンであれば・・・

実際に聞える音の成分だけを客観的に評価するので問題の取り組みに最適！！

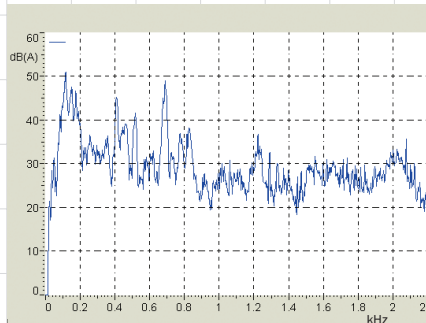
各聴感成分はフィルターにより分離、再生できるのでその評価値を自ら検証可能！！

メカ改良後のサウンドを事前にシミュレート！！

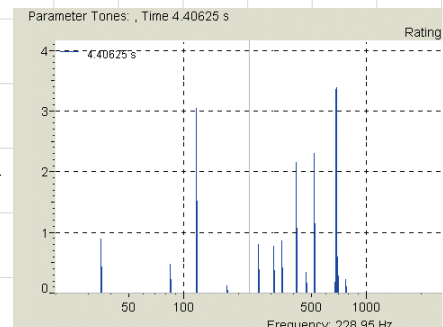
## Siビジョンの特徴

- ① 実際に聞える音の成分だけを全て一つの画面に見える化！
- ② 問題の音成分を瞬時に特定、定量化、音質評価を容易に実現！
- ③ スペクトル、純音、変動音、パルス音の特性を単一ツールで解析！
- ④ 世界初、ノイズや異音の原因である純音成分や変動音成分をフィルター分離！
- ⑤ 聴感成分の増減フィルターでヒアリングセッション時の個人差の問題も解消！
- ⑥ シミュレーションフィルターで目標となるサウンドを自由にデザイン可能！
- ⑦ FFT など物理量評価や既存の音質評価のパラメーターとの比較表示も可能！
- ⑧ WAV ファイルで瞬時に読み込み、瞬時に評価！

## 何が聞えるか!? それの問題なのです!!



FFT ではどのピークがどれくらい聞えるのか教えてくれません・・・  
バックグラウンドノイズのマスクングの影響を考慮しなければならないのです！



Siビジョンでは実際に聞えるピークのみ**の**強弱を聴感スコア (Y 軸) で表示します